

愛知山労

愛知県勤労者山岳連盟
機関紙

2011年12月16日発行

No. 469 (第43期09号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町2-8 栄和産業(株)ビル2F

TEL/FAX 052-654-1210

<http://aichirousan.web.fc2.com/>



冬の風の中を歩く(2011.12.4 鈴鹿・宮指路岳にて)

《目次》

巻頭言	元気に新しい年を!	2
婦人部	11/19(土)・20(日)「交流登山」に64名	3
遭対部	教訓をどう生かすか? 合宿とトレーニングをどう考えるか? 12/9 冬山合宿遭対連絡会議を開きました	5
自然保護部	第7回 自然保護担当者会議を開催しました	6
組織部	組織数推移	7
スケジュール		8

元気に新しい年を!

会長・理事長 洞井孝雄

あっという間にもう師走になってしまいました。

今年は、3.11の東日本大地震・津波、そして福島原発に揺れた一年でした。雪の季節の復興は一層厳しさを増し、原発の問題も、次々と安全に対する想定のがんが明るみが出る中で、復旧への解決もまだ遠いところにあります。そんな中で、TPP問題、基地問題、消費増税問題などで、国会は收拾のつかない足踏み状態にあります。こんなかなで、果たして来年は…、と不安を抱きながらの年越しとなりそうです。

さて、いよいよ、各会とも冬山モードに突入、各会とも準備にトレーニングに忙しいことと思いますが、先日開かれた県連の冬山合宿遭対連絡会議の出席は8山岳会、提出された計画は6山岳会11パーティーと、例年になく低調でした。12月上旬に予定されていた氷雪技術講習会の実技が雪不足で、来年1月に延期されたことをはじめ、中旬に入ってもまだ本格的な冬山の季節を迎えるほどの状態になっていないからでしょうか、各会ともエンジンがかかっているのかもしれませんが、少々寂しい状態ではあります。

年が明けてフタを開けてみれば、あちこちの山域に、あちこちの山岳会からのパーティーが顔を合わせる、という状況もよく聞くことです。何事も起こらなければそれで済んでいってしまうのかもしれませんが、万一の際に、「ああ、このことを指摘していれば…」などと悔やんでもはじまりません。最新の情報を交換し合い、お互いの計画の問題点や注意すべき事項、持ち帰って検討すべき事項を指摘し合い、気づきあう場としての連絡会議を、事故を未然に回避するためのツールとしてもっと利用してもらいたいものだ、と思います。

話は変わりますが、年が明ければ、2月には全国総会、愛知県登山研究集会、3月には県連総会、と、大事な課題が控えています。

とりわけ、2月の全国総会では、これまで何度か各会での討議をお願いし、意見を集約してきた「個人会員制度導入」の可否(その提案が出されてきた背景も含めて是非が議論されるべきだと思っています)についての討議が大きな焦点となります。反対を表明している愛知県連として、拙速な結論が出されることのないような対応をしていかなければなりません。加盟団体の活動の活発化や一層の組織拡大の取り組みが大きなバックボーンとなります。

また、全国総会と県連総会との間に予定されている愛知県登山研究集会もまた、愛知県連独自に迫及する課題として、さらには、各会の登山活動の活発化や安全な登山を進めて行くうえで大事なものです。年末の忙しい時にもかかわらず、「リーダー養成」にかかわるアンケートを各会にお願いしていますが、この県登研のテーマ、「リーダー」についての各会、各会員の意識状況を把握するために急遽作成・配布をして、皆さんの協力をお願いしています。アンケートは、各会と会員の「リーダーとメンバー、パーティー」についての理解や意識のありようについて傾向をつかみたいと考えています。2012年2月26日(日)に予定されている県登研、多くの会員の参加で成功させましょう。これからの準備の取り組みにも積極的に参加してください。さまざまな課題を背負った年末ですが、ひとつずつ解決しながら進んで行きたいものです。元気に新しい年をお迎えください。

婦人部

11/19(土)・20(日)「交流登山」に64名



みんなで一緒に (2011. 11. 20交流登山。三ツ瀬明神山山頂にて)

11月19日(日)・20日(日)、二日間にわたって婦人部主催の「交流登山」が開催されました。第一日目は愛知県東栄町の「栗代山の学校」をベースに学習会・交流会、第二日目は三ツ瀬明神山での交流登山がおこなわれ、11山岳会64名(あつた14名、春日井峠4名、スルジェ5名、じねんじよ4名、ありんこ1名、ASC5名、半田F7名、東三河4名、ふわく8名、みどり8名、くらら4名、うち男性18名)が参加し、昨年の交流登山の参加者を上回る盛況のうちに無事終了しました。

第一日目 学習会と交流会

19日(土)は朝からどしゃ降り集合が遅れたために、予定より30分遅れの10時からオリエンテーションをしました。始まりの挨拶と日程の説明の後で、9班に分かれてリーダーを中心に自己紹介や任務分担(食担2・片付け2・給湯係1)をしました。

10時半からは講習「読図・コンパスの使い方」です。講師はふわく山の会の鈴木浩さんと保田幸枝子さん。講堂と教室に分かれて講師の説明を聞いた後で実際にコンパスを使うというやり方で実習をしました。a)コンパスを使っての整置 b)コンパスによる直進 c)目標物を地図で探す(山座同定) d)現在位置の測定(クロスベアリング)という順番でやりましたが、みんな真剣な表情でコンパスを使っていました。分かり易かったという声が聞かれた反面、時間不足でまだ十分に理解できないという声も聞かれました。

昼食後の13時半からは**講演「転ばない山の歩き方」**で、講師は洞井孝雄県連理事長(半田F)です。始めに中高年特に50才以上の女性の事故が多発していることの話があり、危険な崖地や滑り易い氷雪の斜面などリスクイメージの高い所では回避行動をとるが、安全圏に入ると一気に気を緩めてしまうことも要因だと言われました。次は「歩く技術・パーティー行動」についてで、山で転ばない歩き方はない。歩幅を小さくして、足の裏全体で地面を踏み、体重の移動で登ることが大切であると話されました。最後に「ストックの是非と、上手な選び方、使い方」について話があり、きちんとしたストックの使い方が学べて良かったという感想が多く寄せられました。

15時半からは**講演「山の雑話」**で、講師はふわく山の会の久保田孝夫さんでした。285年前の木曾駒登山、遥かなる北千島の山など7話を立て板に水の如く話されました。面白かったのでもっと聞きたいという要望が多かったです。最後に講師が得意な草笛の演奏を披露され、澄んだ音色で好評でした。

各班の食事担当者を中心に夕食の準備をし、講堂で鍋を囲んでの**夕食と交流会**。メニューは、寄せ鍋、スモークチキン、スモークチーズ、切干大根の漬物と煮物、デザートはサツマイモとリンゴの重ね煮、柿ととても豪華でした。おしゃべりとふわくの倉光さんのオカリナの演奏と歌、そして各会紹介と大いに盛り上がりました。星の観察も計画していましたが、残念ながら天気が悪くて来年のお楽しみということになりました。

明日に登山が予定されている明神山三ツ瀬コースは岩場が多くて危険だということで、急遽ふわくの村岡さんに初心者対象のロープワークの指導をしていただき、事故防止の対策もしっかりと行い登山に備えました。

第二日目 明神山登山

20日は明神山登山です。昨日降り続いた大雨が止んで予報では晴れるとのこと、幸運でした。朝5時起床。部屋の掃除と朝食を済ませて、6時に車(マイクロバスと乗用車)で登山口まで行きます。登山口では昨日の読図の講師鈴木さんの説明で、地図上で現在位置の確認をして7時前にスタートしました。登山口横の沢の水は昨日の大雨で水量は多いし勢いよく流れているので渡渉するのに緊張しました。二合目の三ツ瀬峠まではスムーズに登り、整置をしてこれから進む方向を確認します。尾根上の岩場が昨日の雨で濡れて滑り易くなっていたので、クサリを補助として全員が難渋しながら登りました。周りの木々が紅葉していて歓声があがっています。五合目からはこれから登る明神山の山頂が見え、コンパスで目標物を地図で捜す(山座同定)をしました。9時に六合目着。整置して進む方向を確認し、乳岩道コースの方向も確認します。一旦下って登り返し七合目、クサリ場が二ヶ所あって三点支持で慎重に登り、有名な馬の背岩に着きました。昨年登った鳳来寺山方面や鳳来湖、眼下には栃ノ木沢の樹海が見渡せます。痩せた岩稜を巻いて登り、10時ちょうどに鉄製の展望台のある山頂に着きました。30分程して全員が山頂に到着。南アルプスや富士山は残念ながら見ることはできませんでした。全員が展望台の階段に立って記念写真を撮りました。

10時半下山開始。時間的には余裕があるのであわてず慎重に下山することを伝えました。登ってくる登山者も多くてしばし待機をしながら下ります。11時45分六合目で休憩。岩場を慎重に下り、このルートで一番の難所の岩場で、シュリングとカラビナを出して「岩場の危険箇所の通過」の実習をしました。良い体験ができたと参加者には好評でしたが、時間がかかり最後のパーティーが登山口に着いたのは14時半頃でした。心配した事故がなくて全員が無事に下山できたのが何よりでした。明神山が変化に富んでいい山だったという声や、読図

やロープワークができて良かったという感想を多くの方から頂きました。しかし読図の実習ができなかったパーティーがあり、もっと読図やロープワークの実習がしたいという感想が多く寄せられましたので、来年度の婦人部の活動の課題としたいと思います。

山の学校に全員が戻って班毎に反省会をしました。最後に全体集会を開いて、事故なく終えることができたことや参加者全員の協力にお礼を言った後で、実行委員全員が前に並んでその奮闘に拍手を送り散会しました。

「こういう集まりがあることを知らなかった」「今度もまた参加したい」

そんな声もあちこちで聞かれた交流登山。各山岳会の女性会員のネットワークづくりを狙いとした婦人部活動の一環として実施された交流登山、さて、どれくらい、お互いに知り合ったり、仲良くなれたりしたのでしょうか。

遭対部

教訓をどう生かすか？ 合宿とトレーニングをどう考えるか？ 12/9 冬山合宿遭対連絡会議を開きました

【出席者】足立・岸部(若駒)、岩田(じねんじょ)、浅井・清水(あつた)、山口・亀井(同志会)、萱津・堀内・河合(東三河)、高士(ありんこ)、西尾(くらら)、洞井(半田F)

12月9日(金)19時30分から県連盟事務所第43期冬山合宿遭対連絡会議が開かれました。出席者は8山岳会13名、提出された計画は6山岳会12パーティーと低調でした。この時点でまだ、計画の検討中であるとか、新たに計画が煮詰められた山岳会は、県連遭対部に、計画書の送付をお願いしたいと思います。

提出された計画について、指摘された点、討議された点は以下のようなものでした。

- ・計画書の記載事項について、第三者が見てもわかりやすいような表記、位置を考慮することが望ましい。
- ・山域をいくつかに分けた計画が出されているが、事前のトレーニングの山域と本番の山域とが、グレードアップしていくとか、手順を踏んで、という形になっていない。初心者が多いので、といいながら、その初心者が何を学び何を身につけるか、という視点での取り組みになっていない。トレーニングに行く山域が本番の山域よりもグレードが高かったり、その山域にトレーニングに入ったメンバーは本番では違う山域に入ることになっているなど、「まず山域ありき」で、それにメンバーを入れ込む、という形になっている。会としての合宿の視点はどこにあるのか、ということも、もう一度持ちかえって討論して欲しい。
- ・パーティーごとに計画書のフォーマットが異なっている。装備の内容も違っているので、チェックが難しい。再度、きちんと点検し直してほしい。
- ・共同装備を担ぐ担当が一人に偏り過ぎている。スノースコップが共同装備として1本だけだが、これでよいか？ 装備の再チェックを。
- ・「計画したルートで、トップがアイゼンを落とす、という事故があったので、予備のアイゼンを携行する」という話だが、事例として出された事故は、アイゼンを落とした後もトップを交代して、なお登攀を続け、終了点でトップが急性低体温症になったこと、頂上小屋

が営業していなかったこと、メンバーが走って救助を求め、ことなきを得たことなど、さまざまな状況が重なった事故であることを認識すべき。アイゼンを落とした時点も含めて、何度か、引き返す機会があったのに、その判断もしないまま登攀を続けたことや、パーティーとリーダーの問題も含まれた事例だった。アイゼンを落としたという事例があるから予備のアイゼンが要る、という短絡的な問題ではない。

- ・いくつかの計画書に、県連の留守本部の記載がない。すぐに反映させておくこと。
- ・無線機の周波数についても、きちんと決めておいてほしい。

冬山合宿一覧(連絡会議に提出されたもの)

山岳会		山域	コース	日程(予備日含)	人数
あつた	A	八ヶ岳	縞枯山、茶臼山、北横岳	1/7-1/9	5
	B	北ア	西穂高岳(独標手前2500m地点)	1/8-1/9	7
	C	八ヶ岳	硫黄岳、天狗岳	1/8-1/9	5
じねんじょ		八ヶ岳	天狗岳	12/17-12/18	11
名古屋ありんこ		南ア	戸台～北沢峠～仙丈岳	1/7-1/9	4
名古屋山岳同志会	A	八ヶ岳	赤岳主稜～地藏尾根	1/7-1/9	3
	B		赤岳・硫黄岳	1/7-1/10	7
半田F		北ア	中房温泉～燕岳	12/29-12/31	10
東三河	A	八ヶ岳	本沢温泉～硫黄岳	1/7-1/9	9
	B		硫黄岳～横岳～赤岳縦走	1/7-1/9	5
	C		硫黄岳～横岳～赤岳～阿弥陀岳、裏同心ルンゼ、阿弥陀岳北陵	12/31-1/4	4
	D	南ア	塩見岳	1/1-1/4	3

自然保護部

第7回 自然保護担当者会議を開催しました

【出席者】 広畑・奥村(あつた)、喜来(ASC)、松野・野沢(スルジェ)、千田(半田F)、岸部(若駒)、吉川(同志会)

- 1) 全国自然保護担当者会議、報告 於：日光市交流促進センター
「自然公園・山岳地域でのシカによる高山植物の被害の実態とその対策について」
参加者の松野・広畑より報告を受けました。(別項参照)
- 2) 水質検査の日程と分担、報告と予定
11月12日(土) くらら、春日井峠 あつた、10名の参加により実施しました
スカイラインが開通したことに伴い、駐車禁止が強化されている。来年の清掃登山の際、公共交通機関での参加呼びかけを検討する。
2012年春(日程は未定)……スルジェ、くらら、あつた、にて実施の予定。
- 3) 全国連盟第14回労山自然保護講座の報告(労山愛知No. 468参照)をしました
日程2011年9月17日～18日 場所：上高地

講義「過去12000年間の上高地の自然変遷」

講師：信州大学山岳科学総合研究所 河合小百合特別研究員

報告「長野県山岳地帯における大気中二酸化窒素の調査」

4) 藤原岳の積雪観察ポールについて

——各会が藤原岳に登った際には、観察と報告を呼びかける。

5) 次年度の計画——主に鈴鹿山系の自然観察活動について

*自然保護の活動は、自然を大切に作る登山者を育てること。——をどう具体化するか。

この為に、第一に、自ら自然を汚さない、綺麗にする活動としての清掃登山、

第二に、登山のフィールドである山岳自然を守る活動、

第三に、山の自然について関心を高め見識を深める活動、

を柱として次年度の計画を立てる。

*前回担当者会議で議論のあった、鈴鹿の自然観察会の日程——8月末又は9月初旬

*担当者会議での学習会の日程——冬場の担当者会議を当てる

*清掃登山——6月の御在所岳と藤原岳、秋の合同は例年通り準備する

6) 今後の日程

1月12日(木) 第8回自然保護担当者会議にて

鈴鹿の自然教室「鈴鹿の山の雑話」(講師：ふわく山の会 久保田氏)を実施します。

御在所岳をはじめとして鈴鹿の自然と歴史について学びます。

自然保護担当者に限らず、興味ある人など沢山参加下さい。

組織部

		3月			10月			増減		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	あつた勤労者山岳会	48	26	74	57	35	92	9	9	18
2	アリス山の会	3	4	7	3	5	8	0	1	1
3	犬山勤労者山の会マップ	25	38	63	22	37	59	-3	-1	-4
4	おやこ山の会	3	6	9	4	6	10	1	0	1
5	春日井峠の会	25	16	41	22	18	40	-3	2	-1
6	かわせみ山楽会	5	3	8	5	3	8	0	0	0
7	じねんじょ山の会	19	19	38	20	21	41	1	2	3
8	昭和山岳会(4月末脱退)	10	14	24			0	-10	-14	-24
9	スルジェ山の会	16	16	32	16	17	33	0	1	1
10	中央アルパインクラブ	3	0	3	3	0	3	0	0	0
11	ちんぐるま	4	3	7	5	2	7	1	-1	0
12	東海山岳会	26	4	30	30	6	36	4	2	6
13	名古屋ありんこ山岳会	13	6	19	13	5	18	0	-1	-1
14	名古屋ASC	18	20	38	25	23	48	7	3	10
15	名古屋山岳同志会	28	18	46	36	23	59	8	5	13
16	名古屋山歩会	17	8	25	16	8	24	-1	0	-1
17	半田ファミリー山の会	31	43	74	34	47	81	3	4	7
18	東三河山ぽ会	86	84	170	86	80	166	0	-4	-4
19	低い山を楽しむ会	10	6	16	10	6	16	0	0	0
20	ふわく山の会	146	162	308	144	156	300	-2	-6	-8
21	みどり山の会	7	18	25	8	14	22	1	-4	-3
22	山の会「くらら」	41	19	60	45	25	70	4	6	10
23	若駒山岳会	10	3	13	10	3	13	0	0	0
	合計	594	536	1130	614	540	1154	20	4	24

スケジュール

12月			1月			2月		
1	木	自然保護担当7	1	日		1	水	
2	金	理事会17	2	月		2	木	
3	土	冰雪技術講習会 実技(1月に延期)	3	火		3	金	理事会21
4	日		4	水		4	土	
5	月		5	木		5	日	積雪期救助訓練 実技
6	火		6	金	理事会19	6	月	
7	水		7	土		7	火	
8	木		8	日		8	水	
9	金	冬山合宿遭対連絡会議	9	月		9	木	
10	土		10	火		10	金	理事会22
11	日		11	水		11	土	
12	月		12	木	自然保護担当8	12	日	
13	火	女性のとどい8	13	金	教育担当5	13	月	
14	水		14	土	冰雪技術講習会 実技	14	火	
15	木		15	日		15	水	
16	金	理事会18	16	月		16	木	女性のとどい10
17	土		17	火		17	金	遭対担当5
18	日		18	水		18	土	
19	月		19	木	女性のとどい9	19	日	
20	火		20	金	理事会20	20	月	
21	水		21	土		21	火	
22	木		22	日		22	水	
23	金		23	月		23	木	
24	土		24	火		24	金	理事会23
25	日		25	水		25	土	
26	月		26	木	組織担当7	26	日	愛知県登山研究集会2011
27	火		27	金	冬山合宿遭対報告会議	27	月	
28	水		28	土	東海ブロック 雪崩講習会 実技	28	火	
29	木		29	日		29	水	
30	金		30	月	積雪期救助訓練 机上			
31	土		31	火				

労山愛知締切:12月9日

ご意見・ご要望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com